

第3学年松組 国語科学習指導案

指導者 濱田 篤希

**1 日時・場所** 令和4年11月9日(水) 第2校時(9:35~10:20) 3年竹組教室

**2 単元名** 「はんで意見をまとめよう」

**3 単元の目標**

- 考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。知(2)ア [知識及び技能]
- 比較や分類の仕方を理解し使うことができる。知(2)オ [知識及び技能]
- ◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。思A(1)オ [思考力、判断力、表現力等]
- 「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。思A(1)ア [思考力・判断力・表現力等]
- 1年生に読み聞かせる本を選ぶ活動に積極的に取り組み、学習課題に沿って自分の考えを表現しようとする。 [学びに向かう力、人間性等]

**4 単元の評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 考えとそれを支える理由や事例との関係について理解している。知(2)ア</li> <li>○ 比較や分類の仕方を理解し、使っている。知(2)イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。思A(1)オ</li> <li>○ 「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。思A(1)ア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年生に読み聞かせる本を選ぶ活動に積極的に取り組み、学習課題に沿って自分の考えを表現しようとしている。</li> </ul>

**5 指導観**

(1) 児童について

本学級の児童(31名)は、学習に意欲的に取り組むことができる児童は多いが、その一方で、他者の話を、自分の考えと比較しながら聞こうとしている児童は少ない。9月に行った国語科「山小屋で三日間すごすなら」の学習では、グループで持っていくものを五つに絞る話し合いを行った際に、自分の意見を積極的に伝えることができる児童が多く見られ、授業後の振り返りの記述にもそれが表れていた。しかし、「友達の考えをしっかりと聞いて、受け入れることがあまりできなかった。」「話し合いを進めたり、まとめたりするのは難しかった。」という記述も多く見られた。自分の意見を伝えることはできるが、それが一方的であったことや、目的意識を持って自分と相手の考えを比べながら聞くことができていなかったこと、話し合いの進め方やまとめ方といったスキルが身に付いていなかったこと

とが要因として考えられる。

本単元の実施に際して行った国語の学習に関するアンケートは、以下のような結果であった。(令和4年9月13日実施 3年松組31名中30名に実施)

設問	回答	当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
① みんなの前で、自分の考えや意見を発表することができますか。		8人	13人	8人	1人
② 友達の意見に対して、賛成や反対などの立場をはっきりさせて、自分の意見を伝えることができますか。		8人	7人	12人	3人
③ 自分の考えと同じところや違うところを見付けながら、友達の話を聞くことができますか。		6人	16人	5人	3人
④ 自分の考えに理由を付けて、相手に伝えることができますか。		11人	8人	9人	2人
⑤ 話し合いをすると、自分の考えが変わったり、「なるほど」と新しい考えに気付いたりすることができますか。		10人	9人	10人	1人
⑥ 司会をするのは好きですか。		13人	4人	6人	7人
⑦ 司会になって、話し合いを進めたり、まとめたりすることができますか。		8人	9人	10人	3人

これらの結果から、半数近い児童が、自分の立場を明らかにしたり、理由を付けて考えを伝えることに苦手意識を持っており、話し合いをすることの良さをあまり感じることができていないということが分かった。また、「司会をするのは好き。」と回答した児童は13名であったが、「司会になって、話し合いを進めたり、まとめたりすることができる。」と回答した児童が8名に減少していることから、話し合いが進むように発言を促したり、複数の意見をまとめて合意形成を図ったりすることへの自信のなさが見て取れる。

このような実態を踏まえ、本学級の児童には、話したい・聞きたいと思えるような題材の下、自分と相手の考えを比べながら聞くということに必然性を持たせ、司会などの役割を果たしながら合意形成を図ることができたという達成感を味わわせることで、話し合いをすることの良さや面白さに気付かせることが大切であると考えます。

## (2) 単元構成について

本単元では、グループでの合意形成を目指した話し合いについて学習する。話し合いを進めるためには、自分の意見を伝えることが不可欠である。先に挙げた児童の実態から、一人一人が意欲的に話し合いに取り組むことができるようにするために、本校の生活目標との関連付けを図った単元の導入を行いたいと考えた。

本校の10月の生活目標は「読書を大好きになろう」というものである。まずは、学級活動において学級の目標を決めていく。その中で、「おもしろかった本を紹介し合う。」「本の感想を伝え合う。」といったような意見が出てくることが予想される。そこで、国語科「はじめて知ったことを知らせよう」の単元と関連させて、同じ学級の友達に本を紹介するという経験を積ませる。ここでは、読書の良さを改めて感じたり、本の面白さを伝えたりできるようにすることで、本単元での意欲の高まりにつなげていく。その後、生活目標に立ち返り、読書を大好きになれたかを振り返らせるとともに、金子小学校全体で達成することができているかを考えさせる。すると、「まだ、読書を大好きになれて

いない人もいるかもしれない。」という意見も出るのではないかと考えられる。その際に、下学年の児童に目を向け、読書を大好きになってもらうためにはどうすればよいのかという視点から、「1年生が読書を大好きになるように、イチオシの本の読み聞かせをしよう。」という学習課題の設定につなげていく単元を構成していきたいと考える。

学習課題の設定後、まずは各自で読み聞かせたい本を選ばせる。実際の読み聞かせでは、全ての本を読み聞かせることはできないため、読み聞かせる本や読み聞かせの方法を決めるための話し合いが必要であることに気付かせ、本単元での話し合い活動へとつなげていく。一回目の話し合いでは、グループに分かれて、読み聞かせにどんな本を選べばよいのかといった、選定や情報収集の視点を考えさせる。その中で、話の長さや読みやすさ、ジャンル、挿絵のおもしろさ等の多様な視点が出てくることが予想される。しかし、その一方で、どのように選べばよいのか迷う児童も出てくるであろう。その際は、学校司書にインタビューを行い、読み聞かせのアドバイスをもらってはどうかと提案することで、児童主体の活動になるようにしていきたい。また、1年生の好みを知りたいという児童がいた場合には、1年生へのアンケートの実施や、1年生の担任へのインタビューといった方法があることに気付かせ、自分たちで話し合いのための情報収集を行うことができるようにしていく。この情報収集を十分に行うことで、その後の話し合いで自分の意見を述べることに自信が持てるようにしていきたいと考える。

二回目の話し合いの前には、それまでに集めた情報を基にして再度本を選ぶ時間を設定し、選んだ本のイチオシポイントや選んだ理由をワークシートにまとめる時間を設け、その後の話し合いで自信を持って発言ができるようにしておく。二回目の話し合いでは、司会を立てて、各自が選んだ本の中から1年生に読み聞かせる本を選ぶための話し合いを進めていく。また、選んだ本をどのように読み聞かせるかといった読み聞かせ方に視点を当てた話し合いを、三回目の話し合いの場として設定し、単元の終末に、1年生への読み聞かせを実施する。

### (3) 指導について

本時は、グループに分かれて、各自が選んだ本の中から1年生に読み聞かせる本を選ぶための話し合いをする時間である。これまでの情報収集を基に選んだ本のイチオシポイントや理由を伝え合い、それぞれの意見の共通点や相違点に着目しながら、本の選定を進めていく。その際、グループごとに司会を立て、話し合いを進めるときに使える文言をまとめた「司会のプロフェッショナル」を参考に、発言を促したり、話の流れを整理したりしながら、進行に沿って話し合わせる。まず、自分が選んだ本のイチオシポイントや選んだ理由を伝え合わせ、その後、それぞれの本の特徴を比較しながら話し合いを進めていく。その際には、リアクションカード（読み聞かせをして、1年生にどんな表情になってほしいかのイラスト）を用いて話し合いの目的を確かめたり、選んだ本のイチオシポイントを書いた付箋をベン図に整理したりすることで、共通点や相違点に着目して話し合いができるようにしていく。話し合いがうまく進まない場合には、話し合いで困っていることを全体の場で共有して解決法を考えたり、教師が別の視点に気付かせるような助言を行ったりするなど、対話が深まるような手立てを講じる。意見がうまくまとまらないグループには、普段から学級で活用している合意形成の方法をイラストで示した「話し合いのまとめ方」を基に助言を行うことで、話し合いがうまくいったという達成感を味わうことができるようにする。

これらの活動を通して、目的意識を持って相手の話を聞いたり、自分の考えに自信を持って話したりすることのできる児童を育成し、話し合いによってみんなの考えをまとめることができたという達成感を味わわせることで、本校の研究主題である「自ら学び 豊かな関わりの中で 伝え合い 高め合う児童の育成 ～単元構成の工夫・必然性のある学習課題の設定・対話の場の充実を通して～」に迫っていききたい。

## 6 指導計画

次	時	主な活動	評価規準 (評価方法)
1	1	○ 生活目標と関連付けて、学習課題を設定する。	
		1年生が読書を大好きになるように、イチオシの本の読み聞かせをしよう。	
	2	○ 本を持ち寄り、1年生が読書を大好きになるような読み聞かせにするためのポイントについて話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元全体の見通しを持ち、本を選ぶポイントについて考えようとしている。</li> <li>【態】(観察)</li> <li>集めた情報を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。</li> <li>【思】(記述)</li> <li>考えとそれを支える理由や事例をまとめている。【知】(記述)</li> </ul>
	3・4	○ 1年生へのアンケートや学校司書へのインタビューなどの情報収集を行う。	
	5	○ 自分が選んだ本のイチオシポイントなどをまとめる。	
2	6 (本時)	○ 読み聞かせの本を選ぶための話し合いをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的や進め方を確認し、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。【思】(観察・音声)</li> <li>ベン図を用いて、複数の情報を比較している。【知】(観察・ワークシート)</li> <li>進んで自分の考えを伝えようとしている。</li> <li>【態】(観察・記述・音声)</li> </ul>
	7	○ 前時の話し合いを振り返り、読み聞かせの仕方や工夫についての話し合いを行う。	
3	8・9	○ 読み聞かせに向けて、準備や練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を振り返り、これからの生活に生かそうとしている。</li> <li>【態】(観察・記述)</li> </ul>
	10	○ 1年生に読み聞かせを行う。	
	11	○ 読み聞かせを振り返り、学習のまとめを行う。	

## 7 本時の指導

### (1) 目標

目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。

### (2) 本時の主な言語活動 (対話の場)

1年生が読書を大好きになるような読み聞かせにするために、自分の考えを伝えたり、友達の考えと比較したりしながら、グループで考えをまとめるための話し合いを行う。

### (3) 準備物

選んだ本、ワークシート、付箋、「司会のプロフェッショナル」、タブレット端末

### (4) 本時の展開

学習内容	時間	主な発問(○)と予想される児童の反応(●)	○指導上の留意点 ◎評価
1 学習課題の確認を行う。	3	1年生が読書を大好きになる読み聞かせにするために、みんながなっとくする本をくらべてえらぼう。	

2 話合いの目的や進め方を確かめる。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読み聞かせをして、1年生にどんな顔になってほしかったのかを確かめましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おもしろくて笑っている顔。</li> <li>・ 怖いけれど、最後は笑顔になる。</li> <li>・ わくわくして、目が輝いている顔。</li> </ul> </li> <li>○ 話合いの進め方と本の決め方を確かめましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の選んだ本のイチオシポイントや選んだ理由を伝えます。</li> <li>・ 付箋に書いていることが似ているか違っているかを比べて、二冊に絞ります。</li> <li>・ より1年生がおもしろくて笑ってくれる本を選びます。</li> <li>・ 二冊に絞った後は、比べる図を使って話し合います。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話合いの目的を明らかにするために、前時まで活用してきたリアクションカードを提示する。</li> <li>○ 共通点や相違点を比較しやすくするために、話合いの前に、付箋を活用した話合いの仕方を例示する。</li> </ul>
3 本を二冊に絞るための話合いをする。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本を二冊に絞るための話合いをしましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『ひめさま！ぞうは…』は、ぞうを知らないお姫様が、めちやくちやなぞうの絵を描くところがおもしろいです。</li> <li>・ 『ぱんつくったよ。』は、区切るところで意味が変わる文がたくさんでくるところがおもしろいです。</li> <li>・ 『ぜったい食べないからね』は、食べ物の名前を変えちゃうところが、『ぱんつくったよ。』と少し似ているけど、どちらが1年生にとっておもしろいかな。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対話を深めるために、児童が選んだ本から話合いの展開を想定し、必要に応じて、別の視点に気付くことができるような働き掛けを行う。</li> </ul>
4 困ったことについてアドバイスし合う。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話合いで困ったことについて、アドバイスし合いましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『ひめさま！ぞうは…』と『ぱんつくったよ。』は、どちらもおもしろくて、絞るのに困っています。</li> <li>・ 『ひめさま！ぞうは…』と『ぱんつくったよ。』を、文の長さで比べてみるのはどうですか。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話合いが円滑に進むように、話合いで困ったことを全体で共有し、アドバイスし合う時間を設ける。</li> </ul>
5 本を一冊に絞るための話合いをする。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本を一冊に絞るための話合いをしましょう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『ひめさま！ぞうは…』と『ぱんつくったよ。』は、どちらも「言葉がおもしろい」と書いている付箋があるのが共通しているね。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 比べる視点を明確にするために、ベン図を用いて絞った二冊の本の付箋を整理する。</li> <li>○ 本の選定に困るグルー</li> </ul>

<p>6 話合いの内容を共有する。</p> <p>7 学習の振り返りをする。</p>	<p>7</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文の長さは、『ばんつくったよ。』の方が、『ひめさま！ぞうは…』よりも短いから、付箋に書いて付け足そう。</li> <li>・ どちらもおもしろいけれど、1年生に読み聞かせるなら、文の短い方がいいので、『ばんつくったよ。』にしませんか。</li> </ul> <p>○ どうやって本を選んだのかを伝え合いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉がおもしろい二冊の本に絞った後、二つの本の違うところを図で比べて、1年生にも分かりやすいように文が短い方を選びました。</li> <li>・ 登場人物の行動がおもしろい本に絞って、絵が大きくて分かりやすい方にしました。</li> </ul> <p>○ 今日の学習をきなこもちで振り返りましょう。</p> <p>き…比べる図を使うと、本の同じところや違うところを比べやすくなったので、みんながなっとくする本を選ぶことができました。</p> <p>こ…登場人物のせりふがおもしろい本に決まったので、これから読み方の工夫を考えていきたいです。</p>	<p>プも考えをまとめることができるように、合意形成の方法をまとめた「話合いのまとめ方」の使い方についての助言をする。</p> <p>◎ 目的や進め方を確認し、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(観察・音声・記述)</p> <p>思A (1) オ</p>
--	-------------------	---	---

## 8 事後の指導

- 1年生への読み聞かせを成功させるために必要な準備についての話合いを行う。
- 学級会等においても、司会の進行に沿って話合いを進めたり、みんなの考えをまとめたりすることができるようにしていく。

## 9 授業評価の視点

### (1) 授業構成力

「1年生が読書を大好きになるような読み聞かせにするための話合いをする」という対話の場は単元のねらいを達成するために有効であったか。

### (2) 授業実践力

本を絞るための話合いや困ったことについてアドバイスし合う時間における教師の働き掛けは、対話を深めることにつながっていたか。